

解答

- ① 垂「らして」 ② 遺伝 ③ 通勤 ④ 絶句 ⑤ 改札

問二 エ 場所をとっている

問四 1 ウ 2 エ 3 イ 4 ア

問五 思いもよらない

問六 母に対してとてもひどいことをしたような気がして申し訳なく思う（気持ち）

問七 今までは母の気持ちを尊重し、遠慮して自分の意見を言えなかったが、そのことで母を傷つけてしまい、ちゃんと自分の言葉で伝えないといけないと考えるように変わったから。

問八 オ 母の世界

問九 母の世界

問十 イ

問十一 イ

問十二 A … 母とのわだかまりが残ったままの状態で心を閉ざしている気持ち。

B … 自分の中に母が好きだった女の子らしさを見つけ、認められることで嬉しく思い、晴れやかな気持ち。

二

問一 A エ B オ C イ

問二 作者は地上くっています。

問三 冬の大地はのっぺらぼう

問四 白黒のモノゝ日本の美学

問五 素質を見定め自分をつかみとって活躍すること。

問六 イ

問七 豊かな

問八 現状に甘んじる事なく、自分自身の素質や可能性を模索し育てていくこと。

解説

一

問八 — 線(6)の前にある「母がこっちを向いてにっこりしてくれるのを待った。」から、私が母に許してもらいたいと考えていることがわかるので、選択肢オが選べます。

問十一 今井君の「あ、かわいいってことだけ」という言葉を聞いて、「お姫様とか、かわいいとか、それは私があの日手放した母の世界の言葉だった。」と思ったことから考えると、母と同じ世界を自分の中に見つけたことがわかるので、選択肢イが選べます。

二

問六 解説文から、この詩が、土の中で種子を育てることを、青春のさなかにたどっていることがわかります。

— 線(5)の「触れればぐずれるチューリップの青い芽を」とは、青春の苦しさや暗さを表現し、「まだ見えないうちにさえ 春だとも未来だともよぶことができるのです」の部分から、さまざまな可能性に期待をしていることが読みとれるので、選択肢イが適切です。

問八 最後の段落に「暗さがはらんでいる未来」「暗さに耐えることを辞しません。」という表現があります。「暗さ」とは自分の可能性を育てている最中の苦闘を表しているので、未来に向かって、さまざまな可能性を模索し、育てていくという内容をまとめます。